

室工大での水素燃料エンジンバス（左）と水素ハイブリッドトラックの展示・試乗会  
—25日正午すぎ



## 水素バスとトラック

# 実証走行試験終了

室蘭地域

## エコエネ 市民実感

室蘭工業大学、東京都市大、室蘭市が西胆振管内で行っていた水素燃料エンジンバスと水素ハイブリッドトラックの実証走行試験が25日の室工大での展示・試乗会を終了した。走行距離は「バス」が986キロ、「トラック」は533キロ。約1カ月間にわたって寒冷地での走行データ収集と市民への水素エネルギー周知を図った。

両車両とも東京都市大が開発し、走行試験は「水素普及啓発事業」の一環として行った。バス走行試験は昨年2月に続いて2度目。今月2日から17日まで西胆振の13の小・中学校、専門学校で出前教室を実施した。また、14スクール児童館・児童クラブ、市青少年科学習館、室蘭工大などで試乗会を行った。走行距離は昨年の910キロから8・3%増。乗車人数も昨年の約670人を大きく上回る千人台に達した。

一方、トラックは水素エンジンと電気モーター併用で、国内初の走行試験となった。15日から24日まで、生活協同組合コープさっぽろ（本部札幌）の宅配車両として室蘭、登別市内の約220軒向けに使用された。25日は市役所駐車場と室工大で展示・試乗会を行い、多くの市民らが次世代のエコエネルギーを実感した。両車両は20日に東京都市大に返却され、年度内に燃費など走行性能データの報告書をまとめる。

関川純人・市企画財政部企画課主幹は「今年度は室蘭に限らず西胆振の数多くの小、中学校で出前教室ができた。試乗会での乗車も千人を超え、昨年以上に室蘭地域での水素エネルギー普及啓発を図れたのではないかと成果を語っている。」

（山田晃司）

無断転載禁止

著作権は室蘭民報に帰属します

転載承認済

東京都市大学グループ

学校法人 **五島育英会**